

1. < 施策の概要 >

基本構想	安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり	統括課	健康福祉環境部・福祉課
基本計画	コミュニティー・地域福祉		
施策	地域福祉	関連課	健康福祉環境部・子育て支援課
方針・目標等	◆地域福祉活動の推進体制の充実 ◆地域で支え合う温もりのあるまち		
実施内容	◆身近な地域での多様な福祉課題の把握		

2. < 指標の設定 >

①	○	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	福祉ボランティア数	名	木津川市 1,424	25	町社会福祉協議会調べ	
②	○	福祉ボランティア団体数	団体	木津川市 167	25	福祉課調べ	
③		町人口(20歳以上)の福祉ボランティア率	%	木津川市 2.6	25	福祉課調べ	
④		地域福祉センター等利用者数	名	木津川市 19,315	25	福祉課調べ	
⑤		災害時要配慮者登録数	名	木津川市 4,070	25	福祉課調べ	
		H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(試算)	H27(試算)
①	目標	520	595	600	620	600	600
	実績	595	595	560	537		
②	目標	53	55	60	60	65	65
	実績	53	55	60	61		
③	目標	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3	2.3
	実績	2.1	2.1	2.2	2.3		
④	目標	37,600	41,376	41,400	41,400	48,500	49,000
	実績	39,460	41,376	46,490	48,295		
⑤	目標	-	1,376	1,400	1,500	1,550	1,600
	実績	-	1,376	1,326	1,276		

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉ボランティアの活動範囲や年齢構成を見ると、居住地の拠点(集会所等)で活動しているケースが多く、年代は60歳代以上が大半である。</li> <li>福祉ボランティアの活動拠点を担う地域福祉センターの利用者数を見ると、ボランティア活動と余暇等のサークル活動との割合が半々である。</li> <li>福祉ボランティアの動向を見ると、組織的な位置づけで動くというより、小地域ごとのグループ単位で活動しているケースが多く見受けられる。</li> <li>ボランティアの高齢化に伴い引退する人が増え、ボランティア全体の数が減少してきている。</li> <li>災害時要配慮者登録について、登録者数が年々減少してきている為、改めて啓発し登録者数を増やす必要がある。</li> </ul>
---

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、福祉関係ボランティアを束ねる協議会はあるが、会員数が減少している。他の自治体の動向を見ると、ボランティアや各種団体の横の連携を図る必要性が強く感じられ、それらを啓発する意味での研修活動を充実する必要がある。</li> <li>地域福祉計画における課題検討から、「在宅で暮らせるサービスの充実」や「次代を担う子どもたちの福祉教育」、「身近に相談できる場所づくり」等を具体的に進める事業を構築する必要がある。</li> </ul>
---

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁		事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
				H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1		福祉課		13,116	14,367	14,003	14,236	16,219	16,216
		社会福祉推進事業		9,088	9,823	9,499	9,188	11,171	11,171
		一般事業	89	7,066	7,880	7,730	7,410	9,516	9,516
2		福祉課		2,101	2,137	3,070	2,870	2,896	2,896
		戦没者追悼式		242	237	234	247	273	273
		一般事業	91	242	237	234	247	273	273
3		福祉課		7,596	7,906	11,008	11,031	11,217	11,217
		民生委員・児童委員活動費		5,163	5,547	5,469	5,603	5,789	5,789
		一般事業	91	1,767	1,950	1,844	1,939	1,974	1,974
4		福祉課		1,880	1,432	2,551	1,500	2,154	2,154
		福祉人材・ボランティア育成支援事業		660	200	425	246	900	900
		一般事業	91	471	80	225	246	200	200
5	○	福祉課		2,841	2,676	7,053	12,663	6,744	6,744
		地域福祉計画事業		408	1,479	1,481	7,235	1,316	1,316
		一般事業	93	408	1,379	1,191	2,354	416	416
6		福祉課		44,298	43,103	44,514	43,582	40,559	70,559
		地域福祉センター施設運営事業		28,611	35,201	35,783	36,100	33,077	63,077
		一般事業	111	26,216	31,951	32,975	32,705	29,949	59,949
7		福祉課		-	13,851	21,722	19,958	-	-
		地域支え合い体制づくり事業		-	11,865	17,105	16,204	-	-
		一般事業	103	-	0	0	39	-	-
8		福祉課		-	-	-	880	71,722	-
		臨時福祉給付金事業		-	-	-	158	71,000	-
		一般事業	103	-	-	-	0	0	-
9		子育て支援課		-	-	-	1,367	51,267	-
		子育て臨時特例給付金事業		-	-	-	100	50,000	-
		一般事業	103	-	-	-	0	0	-
10									

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・地域福祉計画を策定することができ、今後、本計画の重点課題を最優先に取り組むベースができあがった。  
 ・また、これから、社会福祉協議会の地域福祉活動計画とともに、本町の地域福祉を推進するべき組織づくりの強化が課題である。  
 ・地域福祉センターの施設の老朽化に伴う対策が必要であることから、施設改修の年次計画を作成することが必要である。

5. <施策の今後の方向性>

・地域福祉計画におけるさまざまな課題を計画の進行管理組織で検証する。  
 ・平成24年度に社会福祉協議会で策定した地域福祉活動計画や平成25年度に町が策定した地域福祉計画の見直しを踏まえ、現在の計画における課題等を整理し、事業化を図る検討を行う。  
 ・今後においても、ボランティアの人材教育や講座等を開催し、地域力を高めるいきいきサロンの設置事業を展開していく。  
 ・地域福祉センターの改修計画とともに、あり方委員会で受けた提言書をもとに今後の施設の方向性などを検討していく。